

日本について

『原爆の子』広島県の少年少女のうたえは、原爆投下から6年後の1951年、長田新により岩波書店から刊行された原爆体験文集です。

1945年8月6日広島市の原爆に被爆した教育学学者・長田新は、被爆した少年少女の手記を集めて平和教育の研究資料とする計画を立てました。彼は学生とともに作文用紙を持参して広島市内外の小・中・高・大学、さらに孤児収容施設などを巡回し、手記の執筆を依頼しました。この結果、1,175名の手記が集められ学生により清書されました。2009年までの時点で14の言語で翻訳、世界中に出版されています。

私の平和への思い

戦争はあかんと思う。て思うけど実際自分か
思ってもどうすることもできぬから なんかモヤ
モヤする。国会とか市民の投票やけど、ちゃん
としかとっててかいい人が市民からの投票
で決めたらいいと思う。国会はただの人
気投票やから。そんな人たちに、変な戦争
のこととか決めてほしくない。
戦争は絶対したあかんと思う。